全戸配布

大出区安全安心なまちづくり 推進協議会だより

令和２年６月　第 18 号

今年も感震ブレーカーを斡旋します　！

昨年１月20日設立発足式を行った「大出区安全安心なまちづくり推進協議会」は、防災減災対策委員会を設置し、これまでに伊那谷断層帯の実査と防災講演会を開催するとともに、できることから始めようとのもと一部補助により感震ブレーカーの斡旋を行い予定数量を上回る 43 世帯に設置いたしました。

さし迫っている南海トラフ地震の脅威も報じられていますが、感震ブレーカー設置により地震火災からの安心の声が寄せられています。

○　感震ブレーカー斡旋について

昨年 6 月の合同会で組長さんを通じて集約したところ 33 世帯から申し込みがあり、雪かき・ゴミ出し支援世帯を含め 43 世帯に設置しました。今年は 20 個の斡旋予定です。
地震被害の軽減対策は
「地震はいつ来てもおかしくない。」から
「地震は必ず来る。」との意識改革のもと、
『できることから始めよう』が大切です。

○　感震ブレーカーと予測被害を再度お伝えいたします。

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して電気のブレーカーを発生時に切断して、通電による電気コードの切断・圧迫、発熱する電気器具にかぶさった衣類等引火しやすいものから発生する火災を防ぐものです。　必要な消防力を確保する上からも重要です。

地震被害における電気火災

- 阪神淡路大震災では、139 件の火災のうち電気火災は 85 件(約 6 割)
- 東日本大震災では、110 件の火災のうち電気火災は 71 件(約 6 割強)
- 首都直下地震では、推定死者 2 万 3 千人、全壊焼失 61 万棟の被害が予測されますが感震ブレーカーで火災死者を 40%以上減らせると言われています。
- 箕輪町では、糸魚川静岡構造線の地震で 120 棟が焼失、伊那谷断層帯地震で 110 棟が焼失するとの予測がされています。(電気火災だけでなく全ての火災被害)

○　設置した方の声

自己負担 2000 円で地震火災を防ぐことが出来ればと思いました。
取り付けは簡単でした。

申し込みは、裏面の申込書で、組長さん経由でお願いします。

感震ブレーカー申し込み

感震ブレーカー(3,180円を自己負担2,000円で)を申し込みます。

○組名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿組

○氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

○連絡先(電話番号)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※申し込み時には、分電盤(ブレーカー)に「ふた」がないことを確認してください。
「ふた」のあるものは、取り付けにより「ふた」が閉めれなくなります。

※予定数量を超える場合は、次回斡旋時に対応を検討します。

※自己負担の代金(2000円)は、感震ブレーカーと引き換えになります。

組長さんは、7月19日(日)の合同会に提出願います。